たかだこらむ

ハイウェイテクノフェア2023に初出展
ー高速道路を支える最先端技術ー

当社は製鉄・化学・石油化学など様々な産業分野において設備の設計から製作・建設・メンテナンスまで行っている．特に回転機械の状態監視においては，長年にわたって研究開発を重ね，電流情報量診断システム（T–MCMA®）を商品化し，お客様設備の緊急停止防止や延命化に努めてきた．

またこの度，国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）[※1]や経済産業省推奨のスマート保安技術として「スマート保安技術カタログ」[※2]へも技術登録された．

今回，当社の電流情報量診断システム（T–MCMA®）をハイウェイテクノフェア2023に出展し，トンネル内のジェットファンや排水ポンプといったインフラ設備に適用した事例について展示を行い，多くのお客様へ技術紹介をすることができた．さらに，お客様が抱えられている課題や要望を直接お聞きすることができ，大変貴重な機会となった．今後もお客様の設備管理に寄り添ったソリューションを展開するとともに，お客様のニーズをとらえた商品開発に取り組み，当社の技術がお客様設備の課題解決に役立つように，新たな挑戦を続けていきたい．

1. 開催概要

(1)　主催：公益財団法人　高速道路調査会
(2)　共催：NEXCO東日本／NEXCO中日本／NEXCO西日本
(3)　会期：2023年11月9日（木）～10日（金）10:00～17:00
(4)　会場：東京ビッグサイト　西3・4ホール，屋上展示場
(5)　出展者数：281社
(6)　開催概要：高速道路の建設・管理に関する技術の普及や活用を推進するとともに，高速道路事業について広くお客様や社会の理解を得ることを目的に開催．

2. 展示内容

展示ブース（B–05）は，1コマの大きさ（2.7×2.7m）で，インフラ設備の状態監視をPRするA1パネル・パンフレット・実験動画などを展示．

3. 展示会場の様子

1コマのブースという限られたスペースであったが，会期中の展示ブースは盛況であった．

※1：民間企業等が開発した新技術の情報を共有・提供するための，国土交通省が運用するデータベース．
※2：製品評価技術基盤機構（NITE）では，官民が連携して新技術やスマート保安モデルの情報共有を促進するため，電気設備の新たなスマート保安技術をまとめたものを「スマート保安技術カタログ」として公開している．

西野　健児（診断ソリューション部）